

2020年度 健康科学大学 卒業生アンケート(卒業後1年・3年経過)

—結果報告—

2021年 1月

健康科学大学

調査概要

1.調査目的

本調査は、健康科学大学卒業生の皆様から本学に対する忌憚のない意見をうかがい、お寄せいただいた意見を今後の大学の運営に活用するため実施する。

2.調査対象 健康科学大学を卒業し、3年(2018年3月卒業)を経過した方・及び卒業直後(2020年3月卒業)の方

3.調査方法 配付・回収

4.調査実施時期 配付日時:2020年8月7日 回収期限:2020年9月7日

5.依頼数、回収数、回収率

区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	436	97	22.25%
卒業期別	2018年卒業	217	37	17.05%
	2020年卒業	219	59	26.94%
学科別	理学療法学科	197	47	23.86%
	作業療法学科	97	21	21.65%
	福祉心理学科	95	18	18.95%
	看護学科	47	11	23.40%

※対象者の回収数の合計と卒業期別の回収数の合計は異なっている理由は、作業療法学科卒業生1名の卒業期別未記入によるものです。

※看護学科が今年度より新たに追加となりました。

■考察

2020年3月卒業並びに2018年3月卒業の卒業生を対象にアンケート調査用紙を配付した。特に夏季休暇中の実家への帰省時期に合わせて実施したが結果的に回収率は23.40%と決して高くはなかった。(昨年度21%)

まず問1～5までの回答者について。

看護学科が新たに加わったことにより回答者が昨年度から増加した。また、回答者数は男性と女性でほぼ同じ割合となった他、卒業1年以内の理学療法学科卒業生からの回答が多かった。また、全体の割合として理学療法学科から48%、作業療法学科から22%、福祉心理学科から19%、看護学科から11%の回答があった。

医療・福祉の関連業務に従事している者が約9割である一方、関連する職業についていない者も約1割いた。

クラブ・サークルに所属していた者が約5割であった。

次に問6～9までの大学時代の振り返りについて。

カリキュラムの充実については約6割と満足度は決して高いとは言えないが、不満を感じた卒業生は少ない結果となった。

就職活動支援の充実については昨年度とほぼ同数の回答結果となり、概ね満足している様子が見える。

経済的支援の充実に関して不満を感じる卒業生は少なかったが、「はい」と「どちらともいえない」を選ぶ卒業生の合計で約9割に達した。

施設・設備の充実に関しては「はい」と回答した卒業生が減少した一方で、「どちらともいえない」と回答した卒業生が増加した。毎年、施設・設備の改善を求める意見が寄せられており、今後も継続して改善の余地があると思われる。

次に問10～18までの現在の考え・状況について。

修得した知識・技術について、関連業務に従事している卒業生が約8割いるため、「役立っている」と答えた卒業生が圧倒的に多い結果となった。

臨床実習等で学んだことの役立ちについて「はい」と答えた卒業生が8割と多い結果となった。一方、社会的スキルの役立ちについては、「はい」と答えた卒業生は約6割にとどまった。

現在の仕事への満足度は6割と昨年度より増加した。また、仕事への自己投資に対しては積極的であると答えた卒業生も多く、仕事への将来ビジョンがあるかの問いに対しても「はい」と答えた割合が約6割強という結果から、調査対象者が卒業1年及び3年経過の卒業生であるものの、徐々にではあるが将来へのビジョンが形成されてきているものと思われる。

研究等への取り組み及び研究発表の有無については「いいえ」を選ぶ割合が高く、研究等への関心は低いことが見て取れた。

本学を利用した研究の要望は決して高くない結果となったが、自由回答を見ると、本学の設備に問題があるだけで研究に関心のある卒業生がいることがわかった。

最後に問19～25までの本学に対する意見等について。

本学への協力については、約6割が「はい」と答えていただき大変ありがたい結果となった。

卒業後の来校については、「はい」が3割だった。やや偏りは見られるものの、来校理由は臨床実習等の担当者としてだけではないことが推察できる。

卒業後に本学のホームページを見た回答したのは5割弱と、やや低い結果となった。ホームページ以外にFacebookやLINE等のSNSで健康科学大学の情報を得ている可能性がある。

情報発信の充実に関しては「どちらともいえない」が最も多かった。本学のホームページを見ている卒業生は一定数存在しているものの、ホームページ上での情報発信に魅力を感じていないことが分かった。今後はSNS等で更に情報を発信していくべきであろう。

教育内容充実のために力を入れるべき分野は臨床技術・専門知識という専門職に不可欠な分野に次いで、対人関係と答える卒業生が多かった。

人間形成のため学生支援を充実させる分野は全体的にはあまり差がない結果となったが、理学療法学科は部活、クラス担任制、施設・設備、就職支援及び部活、作業療法学科はクラス担任制及び施設・設備に、福祉心理学科はボランティア及び部活、施設・設備に、看護学科は部活、施設・設備に対する意見が多かった。

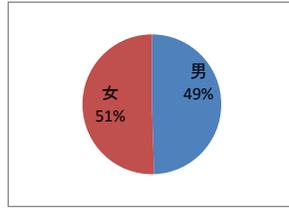
自由記入欄からは本学の活躍に期待している意見がある一方、教育内容の充実並びに施設・設備の充実を求める意見もあった。また内容と開催地・開催日等にもよるが卒業教育を受けたい卒業生は決して少なくないことも分かった。

いずれの結果からも本学への関心が高い卒業生が積極的にアンケート調査に協力していただいたものと考えられる。

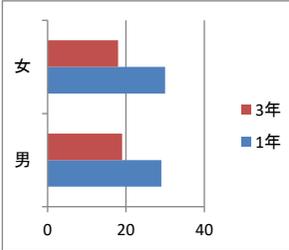
問1.性別

合計	男	女
	48	49

回答数97

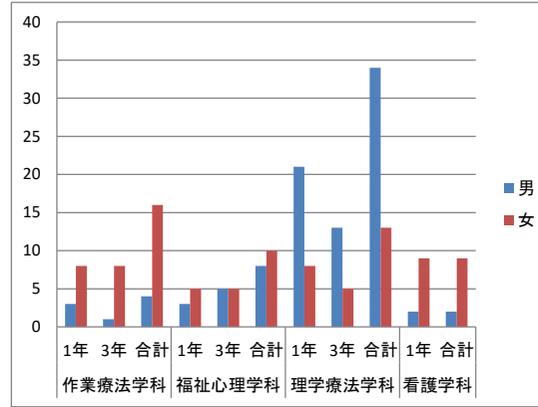


学科	卒業後	男	女
作業療法学科	1年	3	8
	3年	1	8
	合計	4	16
福祉心理学科	1年	3	5
	3年	5	5
	合計	8	10
理学療法学科	1年	21	8
	3年	13	5
	合計	34	13
看護学科	1年	2	9
	合計	2	9



卒業後	男	女
1年	29	30
3年	19	18

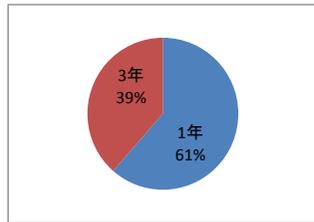
看護学科が加わったことにより回答数は昨年と比べて増加した。(72→97)また、男女比はほぼ同数となった。



問2.卒業後の年数

回答数96

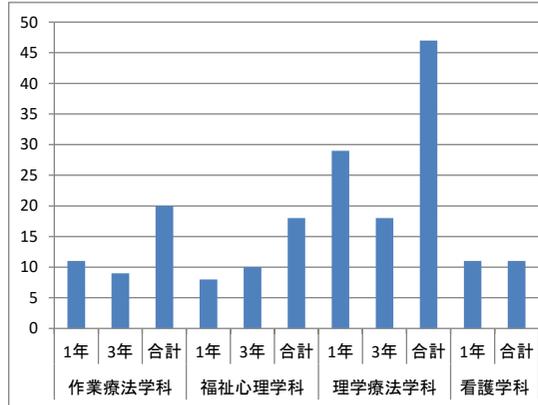
合計	1年	3年
	59	37



学科	卒業後	人数
作業療法学科	1年	11
	3年	9
	合計	20
福祉心理学科	1年	8
	3年	10
	合計	18
理学療法学科	1年	29
	3年	18
	合計	47
看護学科	1年	11
	合計	11

卒業後	人数
1年	59
3年	37

4学科のうち、理学療法学科の卒後1年以内の卒業生からの回答が比較的多かった。



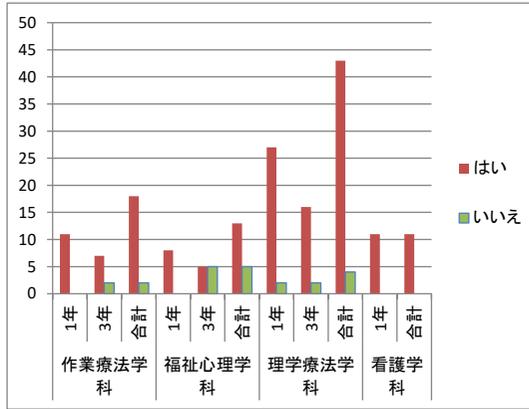
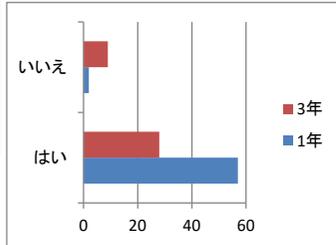
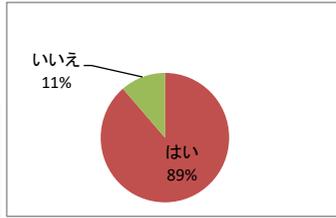
問3.関連業務への就職

合計	はい	いいえ
	86	11

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	11	0
	3年	7	2
	合計	18	2
福祉心理学科	1年	8	0
	3年	5	5
	合計	13	5
理学療法学科	1年	27	2
	3年	16	2
	合計	43	4
看護学科	1年	11	0
	3年	0	0
	合計	11	0

卒業後	はい	いいえ
1年	57	2
3年	28	9



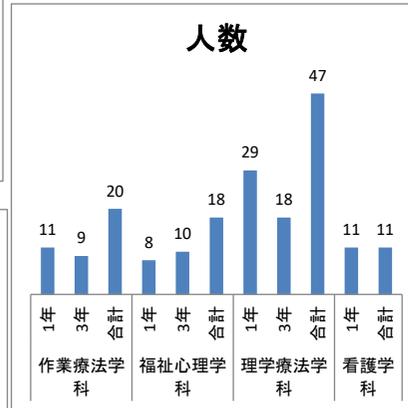
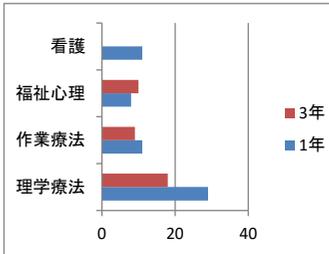
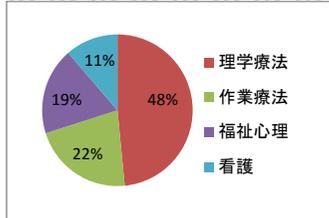
本学で学んだことに関する職業についている卒業生が89%(昨年は85%)で、関連する職業についていない卒業生が11%となった。(昨年は15%)

問4.卒業した学科

合計	理学療法	作業療法	福祉心理	看護
	47	21	18	11

学科	卒業後	人数
作業療法学科	1年	11
	3年	9
	合計	20
福祉心理学科	1年	8
	3年	10
	合計	18
理学療法学科	1年	29
	3年	18
	合計	47
看護学科	1年	11
	3年	0
	合計	11

回答数97



理学療法学科から48%、作業療法学科から22%、福祉心理学科から19%、看護学科から11%の回答があった。

問5.サークル所属

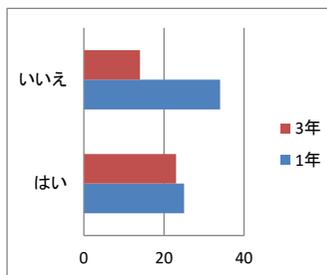
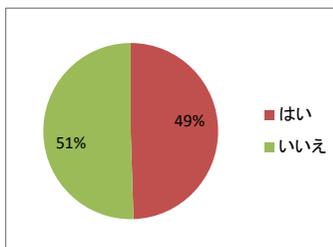
合計	はい	いいえ
	48	49

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	4	7
	3年	5	4
	合計	9	11
福祉心理学科	1年	2	6
	3年	3	7
	合計	5	13
理学療法学科	1年	13	16
	3年	15	3
	合計	28	19
看護学科	1年	6	5
	合計	6	5

卒業後	はい	いいえ
1年	25	34
3年	23	14

回答した卒業生の49%がクラブ・サークルに所属していた。



問6.カリキュラムの充実

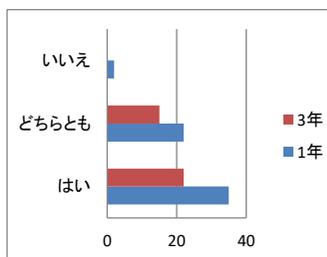
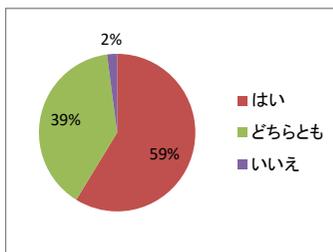
合計	はい	どちらとも	いいえ
	57	38	2

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	8	3	0
	3年	2	7	0
	合計	10	10	0
福祉心理学科	1年	3	5	1
	3年	8	2	0
	合計	11	7	1
理学療法学科	1年	17	10	2
	3年	12	6	0
	合計	29	16	2
看護学科	1年	7	4	0
	合計	7	4	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	35	22	2
3年	22	15	0

「はい」と回答した卒業生が59%、「どちらともいえない」と回答した卒業生は39%となった。



問7.就職活動支援の充実

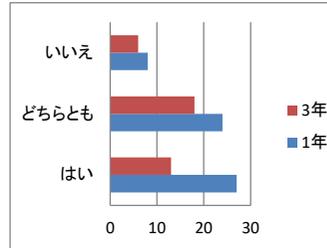
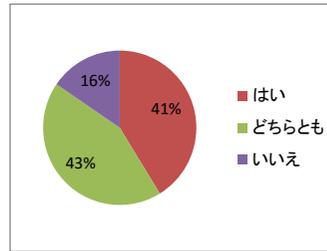
合計	はい	どちらとも	いいえ
	40	42	15

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	7	3	1
	3年	6	2	1
	合計	13	5	2
福祉心理学科	1年	5	3	0
	3年	2	5	3
	合計	7	8	3
理学療法学科	1年	8	15	6
	3年	5	11	2
	合計	13	26	8
看護学科	1年	7	3	1
	合計	7	3	1

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	27	8	
3年	13	18	6

「はい」と「どちらともいえない」は昨年度とほぼ同じ数値となった。



問8.経済的支援の充実

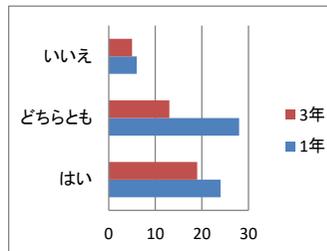
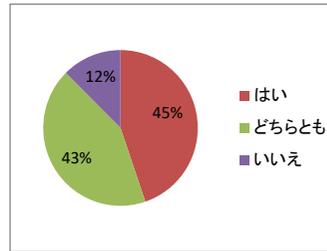
合計	はい	どちらとも	いいえ
	43	41	12

回答数96

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	5	5	1
	3年	4	3	2
	合計	9	8	3
福祉心理学科	1年	2	5	0
	3年	5	4	1
	合計	7	9	1
理学療法学科	1年	9	15	5
	3年	10	6	2
	合計	19	21	7
看護学科	1年	8	3	0
	合計	8	3	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	24	28	6
3年	19	13	5

「はい」が昨年度より増加し(昨年度は25%)、「どちらともいえない」が43%と減少した。(昨年度は58%)充実した経済的支援ができるように鋭意努力をしたい。



問9.施設・設備の充実

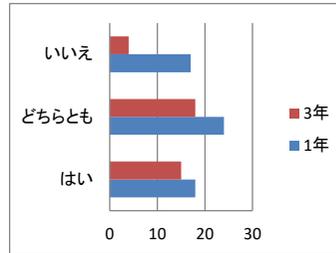
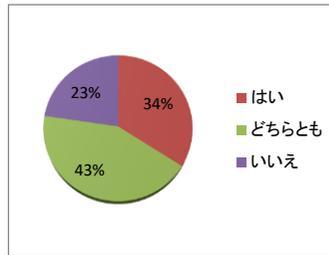
合計	はい	どちらとも	いいえ
	33	42	22

回答数96

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	6	3	2
	3年	2	7	0
	合計	8	10	2
福祉心理学科	1年	3	2	3
	3年	5	3	2
	合計	8	5	5
理学療法学科	1年	5	16	8
	3年	8	8	2
	合計	13	24	10
看護学科	1年	4	3	4
	合計	4	3	4

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	18	24	17
3年	15	18	4

「どちらともいえない」を選ぶ卒業生が43%と昨年度より増加した。(昨年は35%)本学の施設・設備の充実は在学生からも要望が多く改善している部分もあるが、本学における今後の大きな課題と考えられる。



問10.修得した知識・技術の役立ち

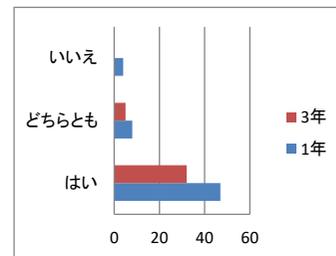
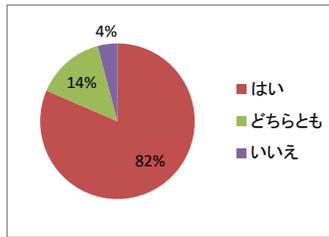
合計	はい	どちらとも	いいえ
	79	14	4

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	8	3	0
	3年	8	1	0
	合計	16	4	0
福祉心理学科	1年	7	1	0
	3年	8	2	0
	合計	15	3	0
理学療法学科	1年	22	3	4
	3年	16	2	0
	合計	38	5	4
看護学科	1年	10	1	0
	合計	10	1	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	47	8	4
3年	32	5	0

関連職業に就いた卒業生が多いことから、82%が「はい」と回答し、昨年度から増加した。(昨年度は68%)



問11.臨床実習等の役立ち

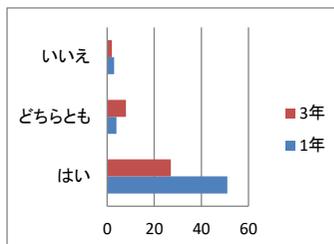
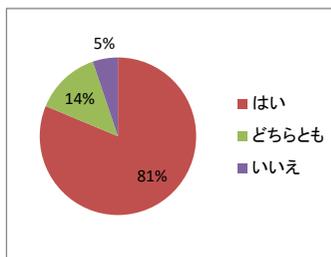
合計	はい	どちらとも	いいえ
	78	13	5

回答数96

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	11	0	0
	3年	7	2	0
	合計	18	2	0
福祉心理学科	1年	6	1	0
	3年	6	2	2
	合計	12	3	2
理学療法学科	1年	25	1	3
	3年	14	4	0
	合計	39	5	3
看護学科	1年	9	2	0
	合計	9	2	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	51	4	3
3年	27	8	2

臨床実習等の役立ちについては、全ての学科において役に立ったと感じる卒業生が多かった。



問12.社会的スキルの役立ち

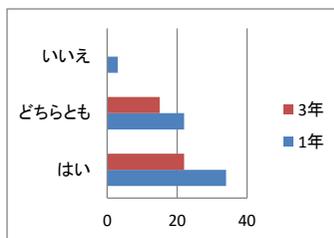
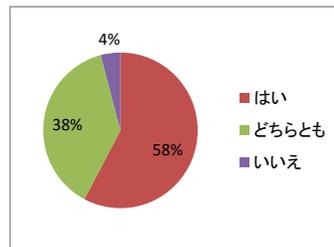
合計	はい	どちらとも	いいえ
	56	37	4

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	7	4	0
	3年	4	5	0
	合計	11	9	0
福祉心理学科	1年	5	3	0
	3年	7	3	0
	合計	12	6	0
理学療法学科	1年	14	12	3
	3年	11	7	0
	合計	25	19	3
看護学科	1年	8	3	0
	合計	8	3	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	34	22	3
3年	22	15	0

知識・技術の役立ちや臨床実習等の役立ちに比べ、「はい」と回答した卒業生が少ない結果となった。



問13.現在の仕事に満足

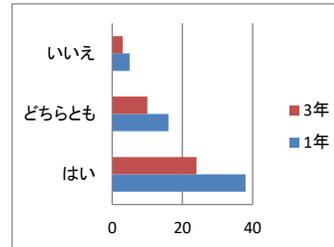
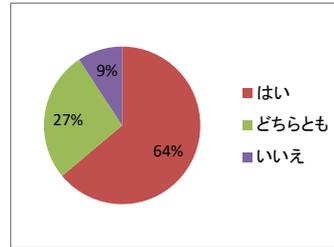
合計	はい	どちらとも	いいえ
	62	26	9

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	10	1	0
	3年	5	3	1
	合計	15	4	1
福祉心理学科	1年	4	1	3
	3年	6	2	2
	合計	10	3	5
理学療法学科	1年	16	12	1
	3年	13	5	0
	合計	29	17	1
看護学科	1年	8	2	1
	合計	8	2	1

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	38	16	5
3年	24	10	3

「はい」と回答した卒業生が64%(昨年度は50%)で、「いいえ」を選ぶ割合も少なく仕事の満足度は高い結果となった。



問14.研究等への取り組み

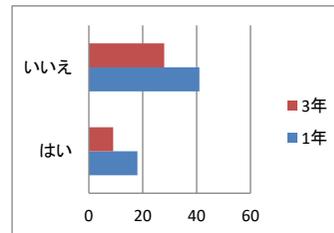
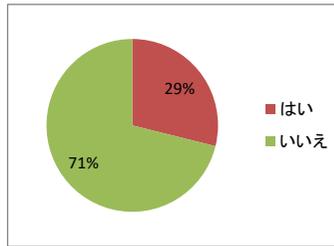
合計	はい	いいえ
	28	69

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	6	5
	3年	2	7
	合計	8	12
福祉心理学科	1年	2	6
	3年	2	8
	合計	4	14
理学療法学科	1年	4	25
	3年	5	13
	合計	9	38
看護学科	1年	6	5
	合計	6	5

卒業後	はい	いいえ
1年	18	41
3年	9	28

全体的に「いいえ」と回答した卒業生が多く、特に理学療法学科に多く見られた。卒業1年及び3年経過の卒業生に送付したため、まだ研究発表の機会が少ないと思われることからこのような結果になったと推測される。



問15.研究発表の有無

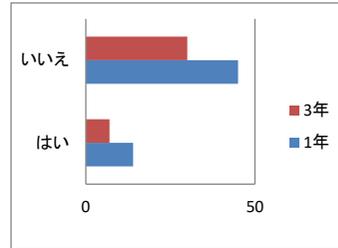
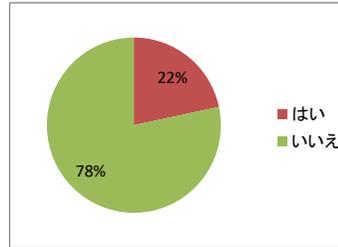
合計	はい	いいえ
	21	76

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	5	6
	3年	2	7
	合計	7	13
福祉心理学科	1年	1	7
	3年	2	8
	合計	3	15
理学療法学科	1年	7	40
	3年	3	15
	合計	10	55
看護学科	1年	4	7
	合計	4	7

卒業後	はい	いいえ
1年	14	45
3年	7	30

問14と同じく、「いいえ」と回答した卒業生が78%と多かった。卒後1年及び3年経過の卒業生に送付したため、まだ研究発表の機会が少ないと思われることからこのような結果になったと推測される。



問16.本学を利用しての研究の要望

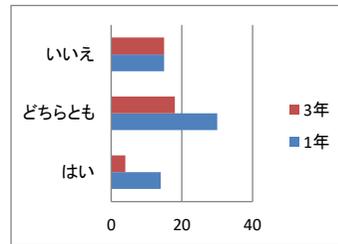
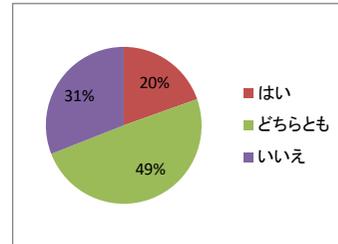
合計	はい	どちらとも	いいえ
	19	48	30

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	3	5	3
	3年	1	6	2
	合計	4	11	5
福祉心理学科	1年	0	3	5
	3年	0	5	5
	合計	0	8	10
理学療法学科	1年	6	16	7
	3年	3	7	8
	合計	9	23	15
看護学科	1年	5	6	0
	合計	5	6	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	14	30	15
3年	4	18	15

「どちらともいえない」を選ぶ割合がほぼ半数となった。卒後1年及び3年経過の卒業生に送付したため、研究の機会が少ないことからこのような結果になったと推測される。



問17.仕事への自己投資に積極的か

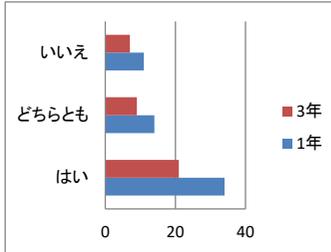
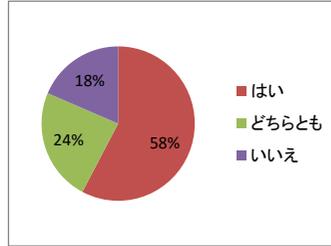
合計	はい	どちらとも	いいえ
	56	23	18

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	6	4	1
	3年	5	3	1
	合計	11	7	2
福祉心理学科	1年	5	1	2
	3年	6	1	3
	合計	11	2	5
理学療法学科	1年	14	7	8
	3年	10	5	3
	合計	24	12	11
看護学科	1年	9	2	0
	合計	9	2	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	34	14	11
3年	21	9	7

積極的であると回答した卒業生の割合が58%と昨年度(51%)から増加した。



問18.仕事の将来のビジョンがあるか

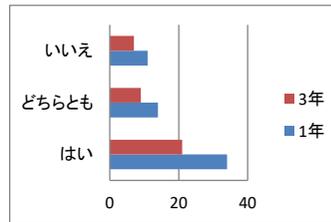
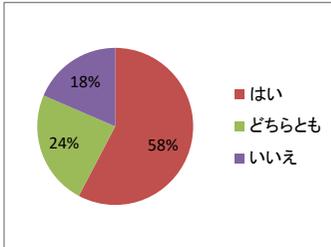
合計	はい	どちらとも	いいえ
	56	23	18

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	6	4	1
	3年	5	3	1
	合計	11	7	2
福祉心理学科	1年	5	1	2
	3年	6	1	3
	合計	11	2	5
理学療法学科	1年	14	7	8
	3年	10	5	3
	合計	24	12	11
看護学科	1年	9	2	0
	合計	9	2	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	34	14	11
3年	21	9	7

「はい」と回答した卒業生が58%と昨年度(35%)から増加している一方、「どちらともいえない」、「いいえ」と回答した卒業生は昨年度より減少した。キャリア教育が徐々に浸透してきていると思われる。



問19.本学への協力

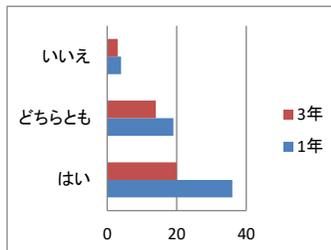
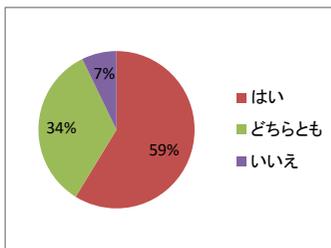
合計	はい	どちらとも	いいえ
	57	33	7

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	8	3	0
	3年	6	2	1
	合計	14	5	1
福祉心理学科	1年	3	4	1
	3年	4	4	2
	合計	7	8	3
理学療法学科	1年	17	9	3
	3年	10	8	0
	合計	27	17	3
看護学科	1年	8	3	0
	合計	8	3	0

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	36	19	4
3年	20	14	3

「はい」の回答数は昨年度(74%)より減少したものの、学科を問わず実習等への本学への協力には賛同いただける回答が多かった。



問20.卒業後の来校

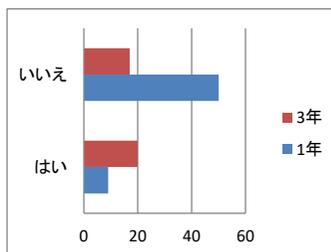
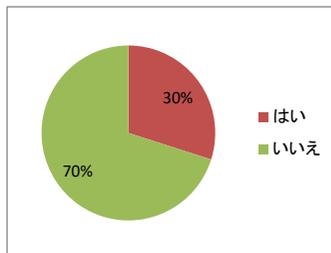
合計	はい	いいえ
	29	68

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	2	9
	3年	4	5
	合計	6	14
福祉心理学科	1年	1	7
	3年	6	4
	合計	7	11
理学療法学科	1年	1	28
	3年	10	8
	合計	11	36
看護学科	1年	5	6
	合計	5	6

卒業後	はい	いいえ
1年	9	50
3年	20	17

「はい」が30%と昨年度より減少した一方(昨年度56%)、「いいえ」が70%と増加した。



問21.本学のHPを見たか

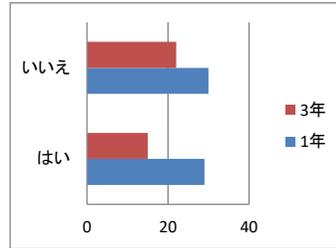
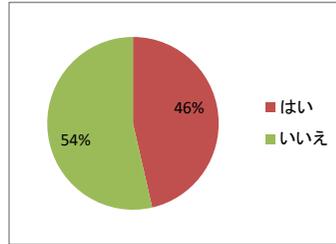
合計	はい	いいえ
	45	52

回答数97

学科	卒業後	はい	いいえ
作業療法学科	1年	6	5
	3年	5	4
	合計	11	9
福祉心理学科	1年	4	4
	3年	2	8
	合計	6	12
理学療法学科	1年	13	16
	3年	8	10
	合計	21	26
看護学科	1年	6	5
	合計	6	5

卒業後	はい	いいえ
1年	29	30
3年	15	22

卒業後にホームページを見ている卒業生が46%、見ていない卒業生が54%となった。



問22.情報発信の充実

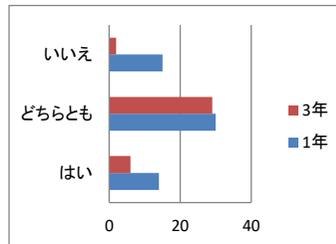
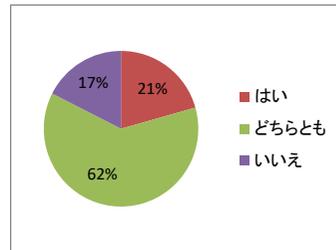
合計	はい	どちらとも	いいえ
	20	60	17

回答数97

学科	卒業後	はい	どちらとも	いいえ
作業療法学科	1年	5	6	0
	3年	1	7	1
	合計	6	13	1
福祉心理学科	1年	1	6	1
	3年	1	8	1
	合計	2	14	2
理学療法学科	1年	3	16	10
	3年	4	14	0
	合計	7	30	10
看護学科	1年	5	2	4
	合計	5	2	4

卒業後	はい	どちらとも	いいえ
1年	14	30	15
3年	6	29	2

「はい」と回答した卒業生21%と少なかった。問21からHPを見ている卒業生は一定数存在するが、HP上での情報発信に充実感を感じていないことがわかった。現在はSNS等でも情報を発信しており、更なる充実を図る必要を感じた。

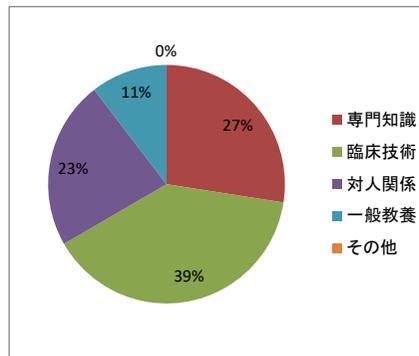


問23.教育内容充実のために力を入れるべき分野(複数)

合計	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
	42	60	35	16	0

回答数153

学科	卒業後	専門知識	臨床技術	対人関係	一般教養	その他
作業療法学科	1年	5	9	2	3	0
	3年	6	7	5	3	0
	合計	11	16	7	6	0
福祉心理学科	1年	2	0	5	3	0
	3年	1	3	7	2	0
	合計	3	3	12	5	0
理学療法学科	1年	13	22	3	1	0
	3年	5	12	7	3	0
	合計	18	34	10	4	0
看護学科	1年	10	7	5	1	0
	合計	10	7	5	1	0



複数回答の設問で、卒業1年と3年ともに臨床技術に力を入れるべきという回答が最も多い結果となった。また、臨床技術は理学療法学科・作業療法学科に多く、福祉心理学科は対人関係、看護学科は専門知識に力を入れるべきとの回答が多い結果となった。

問24.人間形成のために学生支援を充実させるべき分野(複数)

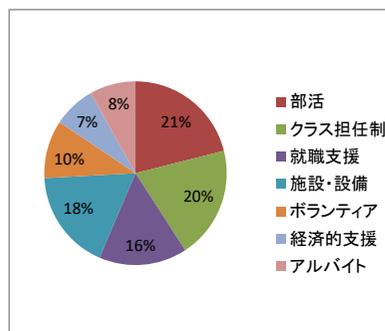
合計	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
	31	29	23	26	15	11	12

回答数147

学科	卒業後	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
作業療法学科	1年	1	5	1	3	1	1	4
	3年	1	4	1	3	2	3	2
	合計	2	9	2	6	3	4	6
福祉心理学科	1年	5	1	8	5	6	3	1
	3年	3	1	7	3	4	0	1
	合計	8	2	7	8	10	3	2
理学療法学科	1年	6	1	1	2	0	0	1
	3年	8	8	5	4	1	2	1
	合計	14	9	6	6	1	2	2
看護学科	1年	9	1	2	4	3	0	0
	合計	9	1	2	4	3	0	0

卒業後	部活	クラス担任制	就職支援	施設・設備	ボランティア	経済的支援	アルバイト
1年	21	8	12	14	10	4	6
3年	12	13	13	10	7	5	4

問23同様複数回答の設問で部活、クラス担任制、就職支援及び施設・設備に対して多くの回答が集まったが、その他の選択肢にもまんべんなく回答があった。主に理学療法学科は部活及びクラス担任制に、作業療法学科はクラス担任制に、福祉心理学科は就職支援及びボランティアに、看護学科は部活に充実さを求める回答が多かった。



問25.卒業教育への参加

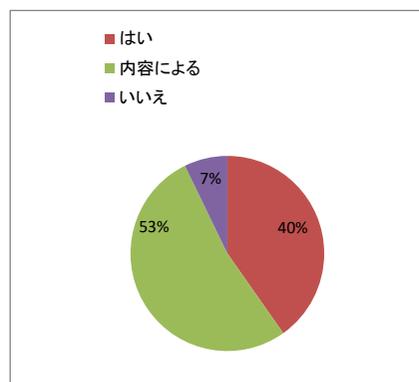
合計	はい	内容による	いいえ
	39	51	7

回答数97

学科	卒業後	はい	内容による	いいえ
作業療法学科	1年	4	7	0
	3年	3	5	1
	合計	7	12	1
福祉心理学科	1年	2	4	2
	3年	4	5	1
	合計	6	9	3
理学療法学科	1年	12	15	2
	3年	8	9	1
	合計	20	24	3
看護学科	1年	6	5	0
	合計	6	5	0

卒業後	はい	内容による	いいえ
1年	24	31	4
3年	15	19	3

「はい」と「内容による」と回答した卒業生で93%という結果となった。また、平日の実施だと参加は難しいので、休日に実施してもらいたいという意見もあった。



■自由記入欄について

【問6～9】

全体的に施設・設備への不満について意見が多く書かれていた。また、食堂への要望も多く寄せられた。

【問10～18】

研究等や仕事に関する更なる勉強に興味や意欲を示す卒業生から意見をいただけた。

【問19～25】

卒業教育への理解や興味を示す意見が数件見られた。
また、本学からの情報発信に関する意見も出された。

自由回答 問6～9について

入学期	性別	学科	
11期生	女	福祉	奨学金があったから安心して学ぶことができました。ただ給付型の奨学金もあればなおよかった。図書館はとても充実していたのでよく利用させてもらいました。
14期生	女	福祉	エアコン整備・ATMが欲しい。3階に渡り廊下が欲しい。B・C棟にもエレベーターが欲しい。3階(ゼミ室)にWIFIが欲しい。
14期生	男	看護	食堂が欲しかった。
11期生	男	福祉	唐揚げ定食はどこの大学よりもおいしかった。
11期生	女	福祉	エアコンがない教室があり、導入してほしいと思った。インターン経験ができなかった。
14期生	女	看護	学校よりの奨学金制度はとても有難く、また励みとなりました。後輩たちにとってもそうであることを望みます。
14期生	男	福祉	就職先で自分で探す人が多く、学校に掲載されてる募集はあまり魅力がないものが多かったのです。例えば、社協の募集があったのですが、学校の掲示板にはなかったと思います。希望する学生が結構多かったのであるとよかったですと思います。
14期生	女	看護	図書館の本が少ない

14期生	男	看護	食堂は欲しかった
14期生	女	理学	カリキュラムに関しては、受けたい授業(選択授業)があっても必修科目とかぶって受けられなかった。
11期生	女	理学	実習中のアパート費を出して頂きたかった。
14期生	女	作業	・渡り廊下に屋根が欲しかった・各棟にエレベーターが欲しかった・壊れている装具が多かった・食堂のメニューを充実してほしい
14期生	男	理学	学食のメニューを増やすべき
14期生	男	理学	何不自由なく充実した学生生活でした。ありがとうございました。
不明	女	作業	図書館は狭い。学生にとって、利用しやすい図書館があればいいと思います。国試前など、開館時間をのばすなどの工夫を図った方が生徒のためになると思います。講義は熱意の伝わってくる先生、そうでない先生もおり、生徒の学習意欲を左右してしまうのではないのでしょうか？
14期生	女	看護	看護学部のキャンパスには食堂がなく、一人暮らしをしている人もいるため栄養面を考えられたお弁当や食堂か何かを設備してあげた方が生活しやすいし、学業にも力を入れやすいと思います。

自由回答 問10～18について

入学期	性別	学科	
11期生	女	福祉	いまになってみると研究に力を入れてみてよかったと思いました。大学で修得した知識・技術はちがう職業に就いたため直接役立ってはいませんが、社会的スキルは役立っています。
14期生	女	作業	研修会はまだ行く機会がないです。
14期生	女	看護	まだ日々の業務のことで精一杯の毎日ですが、将来へのビジョンをもてるよう努力していきたいと考えます。
11期生	女	作業	大学での実習や勉強が臨床にでて基盤になると思います。座学多いので実技(徒手療法、評価方法など)詳しく働く前に学べた方が自信がつくと思います。
14期生	女	看護	病院以外での看護師としての働き方も視野に入れて考えて行こうと思っています。

自由回答 問19～25について

入学期	性別	学科	
14期生	女	作業	ラインの活用は便利だと思いました。
14期生	女	看護	卒後教育の機会をいただければ、とても幸いです。
14期生	男	理学	場所によっては遠距離になってしまったため、リモート等で可能であれば良いと思う。
11期生	女	作業	FacebookやInstagramどSNSを上手く使って情報発信しているのはとても好意的です。写真がもっと掲載されると楽しくて興味もわくのかなと思います。(大変だとは思いますが・・・)
14期生	女	作業	ホームページリニューアル後が見にくくなったと思います。リニューアル前が使いやすかったからだと思いますが見やすいもの良いと思います。
14期生	女	理学	県外に就職したため、卒後教育を日曜日に行って頂きたい。平日だと参加が難しいです。整形外科・スポーツ分野の勉強会があればぜひ参加したい。(特に粕山先生)
14期生	男	理学	コロナ禍ですがweb等にて卒後教育を行っていただけたら幸いです。よろしくお願い致します。